

## 新潟県における暖温帯常緑樹の短報 (2)

朱 雁

## ① 北限のアカガシ群落

暖温帯の植物が新潟県で分布の北限となる一種にアカガシがあり、浅見 (1980) の分布図では、北蒲原郡加治川村で限界としている。その後、柴田 (1994) が荒川町高坪山の目録に掲載している。しかしながら、具体的な生育地の記載もなく、分布の確認ができないでいたが、花立の集落近くで、今回アカガシを含んだ群落見つけて調査したので、その生育状況を記録する。単木では、さらに北に分布している可能性はあるが、まとめて樹林内に混生する群落としては、荒川花立の生育地が北限とみられる。

調査日：2003年5月24日

場所：新潟県岩船郡荒川町花立 50m 環境庁メッシュ [5739-13-28]

群落範囲：10×10m

アカガシの生育する群落の花立集落の南、東向の急斜面にある。この群落にはアカガシが7本ほどあり、高さ5~6mに生育している。群落内のアカガシの大きさ(幹周)を地上120cmで測定した結果、高木7本の内、幹周28cm3本、39cm2本、43cm1本と44cm1本である。

高木層(高さ5~6m)は全体の70%を占めている。アカガシの他、ヤマモミジやアズキナシ、コナラ、フジ、スギなどが生育している。

亜高木層(高さ2~5m)は全体の20%を占めている。ヒサカキが優占し、幹周28cmの太さのものがある。アカガシが4本あり、高さ2~3mである。他にマルバマンサクやオクチョウジザクラ、ガマズミ、アズキナシ、ヤマモミジ、マルバアオダモなどがある。



アカガシの生育する群落 (中央付近に生育)



群落内のアカガシの樹幹

低木層（高さ1~2m）は全体の20%を占めている。ヒメアオキが優占しており、他にアカガシやヒサカキ、ヤマウルシ、タカノツメ、コナラ、オクチョウジザクラ、オオバクロモジ、エゴノキなどがある。

草本層（高さ1m以下）には全体の20%を占めている。

コシノカンアオイ1・2、ヤブコウジ1・2、アオバスケ+1、シシガシラ+1、サルトリイバラ+1、シュンラン+1、ヒメアオキ+1、ハイイヌツゲ+1、テイカカズラ+1、カマツカ+1、ムラサキシキブ+1、ヒメカンスゲ+1、ヤマモミジ+1、コシアブラ+1、ヤマウルシ+1、タカノツメ+1、チゴユリ+1、コマユミ+1、ツルアリドオシ+1、ヤマツツジ+1、スギ+1、ヒサカキ+1、ガマズミ+1、ナガハシスミレ+1、キッコウハグマ+1、チマキザサ+1、ミヤマナルコユリ（花）+1、フジ+1、マルバアオダモ+1、ウゴツクバネウツギ+1、モミジイチゴ+1、ウワミズザクラ（実生）+1等が生育している。

なお、この斜面にはこの群落の他にアカガシ（幹周20~40cm、高さ約6m）が5~6本生えている。

浅見 賢(1980) 新潟県植物分布図集 第1集:25~27.

柴田 治(1992) 新潟県岩船郡荒川町 高坪山の植物 109pp.

## ② 新津市指定 天然記念物：ヤブツバキ林

新津のヤブツバキ林は新津市大字朝日の横木隆夫氏宅の敷地にあり、市の天然記念物に指定されている。案内板に「ヤブツバキ林 新津市大字朝日867 横木隆夫 樹齢約50~300年 面積0.2ha」と記されている（写真 1）。

ヤブツバキ林の樹の大きさとおおよその本数を2003年11月18日に調査した（写真 2~6）。

測定方法として地上120cmの幹周を測定したが、樹によっては根元近くで枝分かれや直幹でないことがあり、その場合は120cm以下に位置を移動して計測した。

林内ヤブツバキの中で、71本（株）の幹周を計った。その結果は次の通りである（表1参照）。

林冠はヤブツバキで100%占めており、林の高さは3~6mで、林床は薄暗く、かなり密集している。階級別により区分してみると次のようである。

(1) 幹周の15cm~50cmの樹が35本で全体の49%を占めている。

[内1階級4本(全体の6%)、2階級6本(全体の8%)、3階級15本(全体の21%)、4階級10本(全体の14%)]

(2) 幹周の51cm~100cmの樹が29本で全体の41%を占めている。

[内5階級9本(全体の13%)、6階級3本(全体の4%)、7階級9本(全体の13%)、8階級3本(全体の4%)、9階級5本(全体の13%)]

(3) 幹周の101cm以上の樹が7本で全体の10%を占めている。

[内101~120cmのが3本(全体の4%)、120~150cmのが4本(全体の6%)]

表1 ヤブツバキ樹の幹周 (cm) 集計

階級番号	幹周 (cm)	本数	備考(最大幹周cm)※	階級番号	幹周 (cm)	本数	備考(最大幹周cm)※
1	11~20	4	全て単木(19.5)	5	51~60	9	単木7個体(60) 3本株立1個体(52) 2本株立1個体(56)
2	21~30	6	単木5個体(28) 3本株立1個体(29)	6	61~70	3	単木1個体(64.5) 3本株立1個体(63) 2本株立1個体(70)
3	31~40	15	単木11個体(40) 3本株立3個体(39) 2本株立1個体(34)	7	71~80	9	単木7個体(79.5) 2股2個体(79.5)
4	41~50	10	単木7個体(50) 3本株立1個体(48.5) 2本株立1個体(45.5) 3股1個体(43.5)	8	81~90	3	単木2個体(87.5) 2本株立1個体(90)

階級番号	幹周(cm)	本数	備考(最大幹周cm)※	階級番号	幹周(cm)	本数	備考(最大幹周cm)※
9	91~100	5	単木4個体(99) 2本株立1個体(94.5)	10	101~	7	全て単木(143)

※ 上記71本(株)の内、株立や二股の場合 最大幹の1本の数値で階級区分する。

付表 幹周の階級別のヤブツバキ大きさ (cm)

1 幹周11~20(4本)

・19.5・19.0・18.0(地上50cm)・15.0

2 幹周21~30(6本)

・29.0(3本株立、他2本18.0、16.0)・28.0・28.0(地上30cm)・25.0・24.0・23.5

3 幹周31~40(15本)

・40.0・39.5・39.0(3本株立、地上100cm、他2本、29.0、27.0)

・37.0(3本株立、他2本、35.5、21.0)・36.5・36.0・36.0・36.0(地上60cm)

・34.0(3本株立、他2本、29.0、23.0)・34.0(2本株立、他1本、28.5)・33.5

・33.0(地上50cm)・33.0・32.0・31.0

4 幹周41~50(10本)

・50.0・50.0(地上50cm)・50.0(地上50cm)・48.5(3本株立、他2本、45.0、23.5)

・48.0・45.5(2本株立、他1本、21.0)・43.5(3股、他2股、39.5、36.0)・44.5

・43.0・43.0(地上60cm)

5 幹周51~60(9本)

・60.0(地上50cm)・59.0・58.0(地上50cm)・56.0・56.0(2本株立、他1本、45.0)

・53.5(地上50cm)・53.0(地上60cm)・52.0・52.0(3本株立、他2本、33.0、23.5)

6 幹周61~70(3本)

・70.0(2本株立、地上60cm、他1本、43.0)・64.5(地上60cm)

・63.0(3本株立、地上60cm、他2本、54.0、46.0)

7 幹周71~80(9本)

・79.5・79.5(2股、地上50cm、他1股、78.0)・79.0(地上50cm)・78.0

・77.5(地上60cm)・77.0・71.5(2股、地上60cm、他1股、67.5)・71.0

・71.0(地上60cm)

8 81~90(3本)

・90.0(2本株立、地上50cm、他1本、74.0)・87.5(地上50cm)・81.0(地上50cm)

9 91~100(5本)

・99.0(地上60cm)・96.5(地上100cm)・95.0(地上50cm)

・94.5((2本株立、地上50cm、他1本、61.0)・94.0(地上60cm)

10 101以上(7本)

・143.0(地上50cm)・137.0(地上100cm)・134.0(地上50cm)・128.5

・111.5(地上50cm)・111.0(地上60cm)・102.0(地上50cm)

[ヤブツバキ林の植生]

低木層(高さ80~100cm)はヤブツバキ、シュロ、ヒメアオキ、シロダモなどがわずかに生育している。草本層ではヤブツバキが優占し、次がキツタ、シロダモ、ヒメアオキ、ヤツデ、シュロの順で生育している。

林縁にはカキドオシ、ヤブヘビイチゴ、チマキザサ、クサイチゴ、ツユクサ、チャ、ヤエムグラ、ジャノヒゲ、ノブドウ、イノコズチ、ヨモギ、ムラサキケマン、ハゼノキ、カナムグラ、アメリカセンダングサ、シケシダ、ベニバナボロギク、ヤマノイモ、ヤマグワ、フジ、ハナタデ、ノコンギク、クサギ、アケビ、ヨウシュウヤマゴボウ、ツルウメモドキ、セイタカアワダチソウ、アオツツラフジ、コマユミ、アオミズ、オオバコ、コナスビ、スギナ、エノキ、ハナイバナ、ナンテン、サルトリイバラ、ヒサカキ、オモト、ベニシダ、ケヤキ、ハイイヌツゲ、ヌルデ、ヒメオドリコソウ、イヌワラビ、モチノキ、スイカズラなどが生育している。

新津市文化財(椿林)



写真1 椿林(樹林)

写真2 椿林(樹林)



写真3 古木幹周(143cm)



写真4 古木幹周(137cm)



写真5 古木幹周(128cm)



写真6 古木幹周二股分岐(71.67cm)